



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場会社名 株式会社 キトー

コード番号 6409 URL <http://www.kito.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鬼頭 芳雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 専務執行役員
経営管理本部長

(氏名) 野村 博

TEL 03-5908-0161

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	22,805	18.1	780	56.1	626	164.5	132	60.5
23年3月期第3四半期	19,312	15.6	500	—	236	514.6	82	—

(注)包括利益 24年3月期第3四半期 △247百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △661百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	1,029.50	1,025.04
23年3月期第3四半期	678.41	672.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	29,283	15,054	49.5
23年3月期	28,151	15,706	53.8

(参考)自己資本 24年3月期第3四半期 14,502百万円 23年3月期 15,158百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	1,000.00	—	1,000.00	2,000.00
24年3月期	—	1,000.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1,000.00	2,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	17.5	1,550	38.4	1,350	52.5	700	65.3	5,438.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.4「(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	135,241 株	23年3月期	135,241 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	6,523 株	23年3月期	6,523 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	128,718 株	23年3月期3Q	121,715 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)

連結経営成績（会計期間）（平成23年10月1日～平成23年12月31日）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	7,800	15.7	443	77.8	459	208.3	118	113.2
23年3月期第3四半期	6,740	20.9	249	—	149	—	55	—

（注） 包括利益 24年3月期第3四半期 15百万円（—%） 23年3月期第3四半期 △161百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	921 76	918 70
23年3月期第3四半期	457 07	453 31

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 11
(4) セグメント情報等	P. 11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は、全般的に緩やかな回復傾向が持続いたしました。欧州金融危機の影響により欧州では経済減速が顕在化しましたが、当社グループを取り巻く事業環境は、北米及び中国を中心としたアジアに牽引され、概ね堅調に推移いたしました。また、日本では、東日本大震災からの復旧・復興に向けた需要により、引き続き手動製品を中心に堅調に推移いたしました。

このような環境の下、当社グループは、2011年度を起点とする「中期経営計画」①営業ネットワークの拡大、②生産のグローバル展開、③新事業領域の拡充、の各施策に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、22,805百万円（前年同期比18.1%増）となりました。利益につきましては、生産台数の増加による工場の操業度向上等により、連結営業利益780百万円（前年同期比56.1%増）、連結経常利益626百万円（前年同期比164.5%増）、連結四半期純利益132百万円（前年同期比60.5%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、当社グループは、当社および連結子会社の所在地域別のセグメント区分で事業活動を展開しております。

セグメントの名称	売上高（前年同期比）	営業損益（前年同期比）
日本	14,314百万円 (18.5%増)	1,143百万円 (206.9%増)
北米	5,766百万円 (15.1%増)	166百万円 (43.6%減)
アジア	8,018百万円 (28.9%増)	769百万円 (11.4%減)
欧州	868百万円 (5.1%増)	△96百万円 前年同期は25百万円の営業利益

(日本)

売上高は、国内、海外ともに需要が堅調だったことに加え、販売価格の見直しを行った結果、14,314百万円と前年同期に比べて18.5%の増加となりました。営業利益は1,143百万円（前年同期比206.9%増）となりました。一方、日本国内向けの売上高は、東日本大震災からの復興需要として手動製品を中心に売上が堅調に推移し、7,678百万円と前年同期に比べて17.4%の増加となりました。

(北米)

北米では、マクロ経済指標としての設備稼働率は高水準を維持し、当社グループにおいても堅調な需要が継続し、現地通貨ベースで米国が29.1%、カナダが8.1%の売上増加となりました。しかしながら、為替の影響により、日本円換算後の売上高は5,766百万円と前年同期比15.1%増加に留まりました。営業利益は、仕入価格の上昇により、166百万円（前年同期比43.6%減）となりました。

(アジア)

アジアでは、経済成長の下、全般的に活発な投資活動が持続いたしました。中国では、生産能力の拡大により旺盛な需要に対応することができるようになり、販売量が増加いたしました。タイにおいては、東日本大震災を契機とした日系企業の進出及び追加投資が顕著に増加いたしました。当社グループにおいては、引き続き日系企業のこのような動きを現地で支援する活動を行いました。その結果、売上高は8,018百万円と前年同期に比べて28.9%増加しました。一方利益につきましては、原材料費や人件費の上昇により、営業利益は769百万円(前年同期比11.4%減)となりました。

なお、中国、タイ、韓国につきましては、2011年1－9月が当第3四半期連結累計期間となります。

(欧州)

欧州では、金融危機を発端とした経済減速の影響を受けながらも、売上高は868百万円と前年同期に比べて5.1%増加いたしました。円高の影響により、営業損失96百万円(前年同期は25百万円の営業利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

資産合計は29,283百万円と前連結会計年度末に対し1,131百万円増加いたしました。これは、受取手形及び売掛金の減少763百万円、商品及び製品の増加1,074百万円、仕掛品の増加1,001百万円等によるものです。

(負債)

負債合計は14,229百万円と前連結会計年度末に対し1,783百万円増加いたしました。これは、支払手形及び買掛金の増加534百万円、短期借入金の増加804百万円等によるものです。

(純資産)

純資産合計は15,054百万円と前連結会計年度末に対し651百万円減少いたしました。これは、利益剰余金の減少124百万円、為替換算調整勘定の減少528百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年11月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の算定方法

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて税金費用を計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率で計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、672円11銭であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,393	4,896
受取手形及び売掛金	5,510	4,747
商品及び製品	4,495	5,569
仕掛品	1,259	2,260
原材料及び貯蔵品	655	891
その他	1,099	1,366
貸倒引当金	△44	△36
流動資産合計	18,369	19,695
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,443	2,415
機械装置及び運搬具(純額)	2,097	2,013
その他(純額)	2,258	2,202
有形固定資産合計	6,799	6,631
無形固定資産		
のれん	831	622
その他	215	177
無形固定資産合計	1,047	799
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,157	1,142
その他	750	993
投資その他の資産合計	1,908	2,135
固定資産合計	9,755	9,567
繰延資産	27	20
資産合計	28,151	29,283

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,109	5,644
短期借入金	281	1,085
未払費用	1,103	1,111
未払法人税等	158	137
引当金	334	177
その他	1,181	1,677
流動負債合計	8,169	9,834
固定負債		
社債	1,600	1,450
長期借入金	420	570
退職給付引当金	2,032	2,096
役員退職慰労引当金	125	134
その他	97	144
固定負債合計	4,275	4,394
負債合計	12,445	14,229
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,976	3,976
資本剰余金	5,199	5,199
利益剰余金	8,523	8,398
自己株式	△587	△587
株主資本合計	17,113	16,988
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3	△6
為替換算調整勘定	△1,950	△2,479
その他の包括利益累計額合計	△1,954	△2,485
新株予約権	25	34
少数株主持分	521	517
純資産合計	15,706	15,054
負債純資産合計	28,151	29,283

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 第3四半期連結累計期間
 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	19,312	22,805
売上原価	13,288	15,972
売上総利益	6,023	6,832
販売費及び一般管理費	5,523	6,051
営業利益	500	780
営業外収益		
受取利息	18	22
受取配当金	—	0
その他	90	119
営業外収益合計	108	142
営業外費用		
支払利息	23	46
為替差損	273	179
その他	74	71
営業外費用合計	371	297
経常利益	236	626
特別利益		
償却債権取立益	4	—
負ののれん発生益	19	—
保険解約返戻金	18	29
特別利益合計	42	29
特別損失		
環境対策引当金繰入額	1	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	27	—
会員権評価損	0	—
事務所移転費用	9	—
固定資産除却損	—	12
特別損失合計	38	12
税金等調整前四半期純利益	241	643
法人税等	82	416
少数株主損益調整前四半期純利益	158	226
少数株主利益	76	94
四半期純利益	82	132

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	158	226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△2
為替換算調整勘定	△823	△470
その他の包括利益合計	△820	△473
四半期包括利益	△661	△247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△711	△399
少数株主に係る四半期包括利益	49	151

第3四半期連結会計期間
四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	6,740	7,800
売上原価	4,616	5,350
売上総利益	2,124	2,450
販売費及び一般管理費	1,874	2,006
営業利益	249	443
営業外収益		
受取利息	11	13
為替差益	—	0
その他	10	28
営業外収益合計	22	43
営業外費用		
支払利息	9	16
為替差損	73	—
その他	39	9
営業外費用合計	122	26
経常利益	149	459
特別利益		
保険解約返戻金	—	29
特別利益合計	—	29
特別損失		
事務所移転費用	9	—
特別損失合計	9	—
税金等調整前四半期純利益	139	489
法人税等	53	337
少数株主損益調整前四半期純利益	86	152
少数株主利益	30	33
四半期純利益	55	118

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	86	152
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△2
為替換算調整勘定	△247	△133
その他の包括利益合計	△247	△136
四半期包括利益	△161	15
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△179	△14
少数株主に係る四半期包括利益	17	30

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	アジア	欧州			
売上高							
外部顧客への売上高	7,605	5,008	5,872	824	19,312	—	19,312
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,475	—	348	0	4,824	△4,824	—
計	12,081	5,008	6,221	825	24,136	△4,824	19,312
セグメント利益	372	295	868	25	1,562	△1,062	500

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,062百万円には、たな卸資産の調整額△22百万円、引当金の調整額△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,036百万円が含まれております。
全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「アジア」において、当社連結子会社である江陰凱澄起重機械有限公司に出資を行いました。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては19百万円
であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	アジア	欧州			
売上高							
外部顧客への売上高	8,735	5,766	7,435	866	22,805	—	22,805
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,578	0	582	1	6,163	△6,163	—
計	14,314	5,766	8,018	868	28,968	△6,163	22,805
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,143	166	769	△96	1,983	△1,202	780

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,202百万円には、たな卸資産の調整額△167百万円、引当金の調整額△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,030百万円が含まれております。

全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。